

どんなふうに頼めばいいか、花屋で固まってしまう人のための

気配り男子のスマートな花贈り

戸惑いがちな花屋でのやりとりを簡単3ステップでご案内。慣れてしまえば、花贈りは楽しみに変わる！

初級

STEP 1

用途を伝える

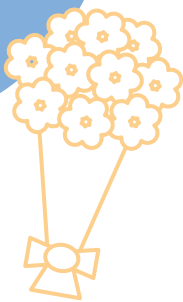
まず花屋で聞かれるのは用途。お祝いか、お見舞いかなどを伝えよう。

花屋で一番最初によく聞かれるポイント

お祝い事なら誕生日、記念日、発表会 etc...か、また、送別会か、お見舞いかなど具体的な用途を伝えよう。

もし、わかれば...

贈る相手の年齢や好みがわかればベスト。用途と好みにあわせて、花屋が全体のイメージをコーディネートしてくれます。



STEP 2

予算を伝える

おおよその予算を話そう。数百円からでも気持ちを伝えるお花は買えます。

ちょっとしたギフトには

予算：500円前後～1,500円程度
花1本からミニブーケ、小さめの鉢ものなどお手軽に買える花はいろいろあります。贈り物用にラッピングしなくても旬の花を数本サッと包装紙にくるんだだけでも気持ちは十分伝わります。

失敗できない大事な時には

予算：3,000円前後～5,000円程度
記念日に贈る時や彼女の実家に訪問する時など、こそぞという時には、花束やアレンジメントがおすすめです。また旬の鉢ものなども喜ばれます。



STEP 3

どんなものを贈りたいかを相談する。

希望する花の色や、花束か、アレンジメントか、鉢ものかなど相談して決めよう。

中級

もっと花贈り上手になるヒント

ヒント1:「〇〇を10本で！」

一番簡単な頼み方は、「赤バラ10本で」とか、思い切って花の種類を1種類に絞ってしまうことです。1種類だけの花束はシンプルでスマートな仕上がりに。花の名前が分からなくても指さして「これ！」でOK!

ヒント2:「〇色系で！」

花の色を決めてオーダーするのもよくある注文の仕方です。花の組み合わせまで考えるのは大変だけど、色数を絞ればセンスよく仕上がります。(例)「ピンク系で」「黄色とオレンジ系で」「白とグリーン系で」

ヒント3:「〇〇な感じで！」

ちょっと難易度が高くなりますが、「雰囲気キーワード」を伝えることもよくあります。彼女のイメージ、好みにあわせて注文します。(例)「かわいい感じで!」「ゴージャスな感じで!」「シックな感じで!」「ナチュラルな感じで!」

POINT ①
「イザ」という時のために、家やオフィスの近くに相談しやすい花屋をみつけておこう。

POINT ②
時間がない人は電話予約がおすすめ。最近ではインターネットで注文できるお店も増えています。

POINT ③
「かわいいラッピングがほしい」という人は、注文の時に伝えておこう。

目指せ!
花贈り上手!



できあがり!

